

## 2025 年度 SIMOSE のビジョンを支える仕事 レポート

### 【 担当教員(特別講師) 】

学部・学科・専攻	職名	氏名
代表者:芸術学部・デザイン工芸学科・視覚造形	教授	中村 圭
講師:Shimose A&R 株式会社	支配人	前砂 志郎
講師:下瀬美術館	学芸主任	山本 和毅

### 【 プロジェクトの概要 】

2026 年 1 月 27 日(火)14:40～17:00 に、313 Lounge(情報科学部棟 3F)において、総合表現研究×地域展開型芸術プロジェクトの一環として講義「SIMOSE のビジョンを支える仕事」を実施した。講師として、Shimose A&R 株式会社・支配人の前砂志郎氏、下瀬美術館・学芸主任の山本和毅氏を招き、下瀬美術館、ヴィラ、レストランを含む複合施設 SIMOSE の企画・運営について、展示の舞台裏、建築維持、ホスピタリティ、発信、学芸業務など多面的な視点から講義を行った。受講対象は芸術学部の総合表現研究履修者とし、地域文化施設の運営と芸術実践を接続して学ぶ機会とした。

### 【 プロジェクトでの成果等 】

受講後に提出された 36 件のコメントから、学生は「アートの中でアートを観る」という施設コンセプトや、建築家・デザイナーの理想と利用者の利便性、経営判断を両立させる実務の重要性を具体的に理解したことが確認できた。また、学芸員や支配人の役割、ブランド形成、ターゲット設定、UI/UX、地域資源を生かした企画運営などについて学び、自身の制作・企画・将来の活動に接続して捉える記述が多く見られた。コメントには下瀬美術館を実際に訪れたいという関心や、作品制作・展示計画・デザイン実践に今回の学びを生かしたいという意欲も多く示され、地域文化施設の現場を具体的に知る教育効果が得られた。

1.27 14:40-17:00  
313 Lounge (情報科学部棟 3F)

総合表現研究

# SIMOSE の ビジョンを 支える仕事

下瀬美術館とヴィラ／レストランの現場から

講師

前砂志郎氏 (Shimose A&R 株式会社・支配人)

山本和毅氏 (下瀬美術館・学芸主任)

瀬戸内海を望む広島・大竹の「下瀬美術館 (SIMOSE)」は、「アートの中でアートを観る」を掲げ、建築家・坂茂が瀬戸内の島々に着想した水盤上の 8 つの可動展示室を核に、空間そのものが鑑賞体験になる美術館です。可動展示室は広島造船技術を活かし、水の浮力で動かせる仕組みというユニークさも持ちます。2023 年 3 月に開館し、2024 年には「世界で最も美しい美術館」の一つとして Prix Versailles に選出されました。美術館に加え、庭園、レストラン、ヴィラを併設する複合施設として、宮島を望む海辺の風景と来館体験を一体で設計しています。本授業は、専門家デザイナーや工芸家の“作り手”紹介ではなく、施設総支配人と学芸主任から、展示の舞台裏、建築維持、ホスピタリティ、発信まで、SIMOSE のビジョンを“運営”で支える仕事のリアルを聞く回です。

対象：芸術学部・総合表現研究履修者（必修）

席数に余裕のある限り、本学学生教職員のどなたも聴講歓迎致します。

総合表現研究 × 地域展開型芸術プロジェクト

問い合わせ：中村圭 (芸術学部 323 / VC デザインスタジオ)